

# ほんべつ 議会だより

No.99

令和3年12月1日発行



## センスが光る 小学生のアーティスト

10月31日 生け花体験教室

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123  
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 



第3回 定例会

副町長に村本総務課長を選任  
教育長に高橋企画振興課長を任命

佐々木基裕町長が就任し初となる本会議が10月5日に開会し、各会計補正予算、条例改正、副町長選任・教育長任命などを審議しました。  
審議された内容は次のとおりです。

副町長人事

令和3年10月29日任期満了に伴う副町長の選任について、

村本 信幸

総務課長

を選任することに、記名投票の結果「全会一致で同意」しました。

なお、任期は令和7年10月29日までとなります。

教育長人事

令和3年7月7日辞職により、不在となっていた教育委員会教育長の任命について、

高橋 哲也

企画振興課長

を任命することに記名投票の結果「賛成10人・反対1人で同意」しました。

なお、任期は令和6年5月11日までとなります。

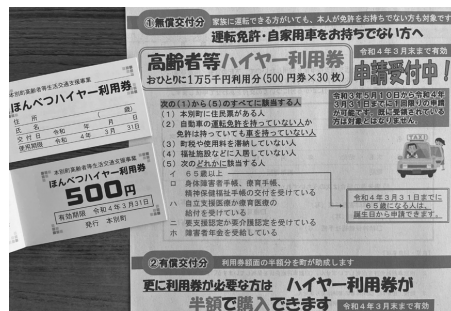
一般会計補正

高齢者等生活交通支援事業

運転免許、自家用車を持っていない65歳以上の高齢者などを対象に、1人当たり1万5千円分のハイヤー利用券を申請により交付しています。

問 これまでの利用実績は。

答 10月1日現在335人、579万円分の利用券を配布しています。



令和4年3月末まで利用可能なハイヤー券

病院事業会計補正

人材紹介手数料

問 手数料218万8千円の内容は。

答 紹介会社を経由して採用した際に、成功報酬的な手数料として、薬剤師採用については、想定年収の35%を紹介会社に支払っています。

令和3年10月20日から  
教育委員会委員になる  
と お や ま と も こ  
遠 山 倫 子 氏  
(山手町)

の任命(再任)に「同意」しました。

第3回

臨時会

開催日7月28日

一般会計補正

新型コロナウイルス対策支援

児童福祉施設等従事者支援事業

認定こども園等の対象施設において、5月16日から6月20日までの緊急事態宣言中に、児童と接触を伴う業務に14日以上従事した方を対象に、5万円分の商品券を給付するものです。

**問** この期間、従事した日数が14日に満たない人もいるのか。

**答** 代替職員で4、5日勤務の職員はいます。



コロナ禍でも安心した保育を提供（認定こども園）

▼本別町版GO TO イクアウト

コロナ禍における飲食店や持ち帰り、配達飲食サービス業に対する支援事業として、持ち帰り・配達用チケット6千円分を3千円で販売するものです。

**問** 今年6月の第1弾実施のときと変わったところは。スナックなども打撃を受けているが、今回も対象から除かれるのか。

**答** 大きく変わる予定はしていません。商工会とも協議していますが、大変厳しい状況におかれている業種の皆さんへの支援は、引き続き検討していきます。

※第2弾チケットが9月16日から販売されましたが、今回は持ち帰り・配達のほか、店内飲食でも使用できるようにになり、新たにスナックなども対象店舗となりました。

▼緊急対策支援事業

小売業や飲食業などを対象に、事業者の経営安定化と事業継続を図るため、売上減少額に応じた支援を実施するものです。

令和3年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(5,251万6千円) 70億3,410万4千円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる増 (臨時会) 高齢者等生活交通支援事業、新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料などの増 (定例会)
特別会計	(2,726万円) 11億1,510万9千円	健康管理センターに換気式エアコン設置による増 (臨時会) 決算に伴う前年度からの繰越金、基金積立の増 (定例会)
	(11万3千円) 1億4,804万5千円	決算に伴う繰越金の清算による増 (定例会)
	(2,675万1千円) 10億7,341万9千円	決算に伴う清算による増 (定例会)
	(40万9千円) 1億1,104万8千円	配水管など施設修繕の増 (定例会)
	(1,467万1千円) 5億5,292万5千円	浄化槽設置基数の増 (定例会)
病院事業会計	(913万2千円) 13億3,973万3千円	医療職員の採用に伴う紹介手数料と内視鏡の更新に係る経費の増 (定例会)

**問** 事業の詳細は。

**答** 緊急事態宣言中の5月と6月を基準月に、前年または前々年と比較して、一定の売上金額の減少があった飲食店、小売業、サービス業、卸売業、宿泊業などに支援を行います。

**梅村議員の除名処分を取り消し**

令和3年4月27日開催の第2回臨時会におきまして、除名処分とされておりました梅村議員ですが、令和3年10月8日に北海道知事から出された審決において、処分が取り消されたことにより、令和3年4月27日にさかのぼって身分が回復されました。

**次の定例会は  
12月7日開会  
14日一般質問を  
予定しています**

※第3回臨時会（7月28日開催）、第4回臨時会（9月17日開催）含む

# 一般質問

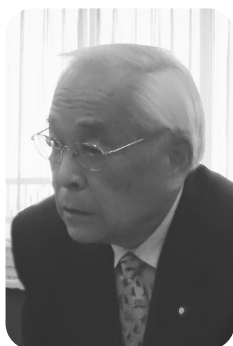
5人の議員から10問



## 暮らし

### 町国保病院の経営と特別養護老人ホーム建設は

**答** 必要とされる病院と特養建設に向けた事業に取り組みます



大住啓一議員

**大住議員** 医療と介護の連携は施政方針においても述べられていますが、町国保病院の経営改革と高齢化社会に対応するため、大型の特別養護老人ホームの建設が急務だと思いますが、考えを伺います。

①町国保病院の経営については、町民の皆さんが願う国保病院の運営を目指すべきだと思いますが、考え方を伺います。



## 福祉

### 福祉でまちづくりを支える人材確保を

**答** 魅力ある職場づくりに向け、意見交換など進めます

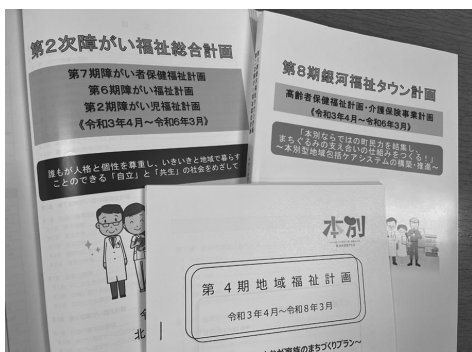


阿保静夫議員

**阿保議員** 町長は福祉でまちづくりの推進の継続、また、安心して最期を迎えることのできるまちづくりについて表明されました。

そのためには、人材確保、育成が不可欠です。福祉関連の人材確保は非常に厳しい状況と聞きますが、初任者研修や児童生徒、専門学校生への働きかけなどを強めていかなければならないと考えます。

また、関係者の率直な意見を聞く機会も設けながら進めることも重要ですが、本年の取り組み状況含めて見解を伺います。



新たに策定した福祉関連計画

**佐々木町長** 福祉でまちづくりの推進には介護人材の確保が必要不可欠です。

これまで初任者研修初め各種研修やセミナーの開催、町内事業所への就業支援や各種補助、就学資金貸付けなど総合的に取り組んできました。

今後、魅力ある職場づくりに向け、意見交換など取り組みを進展させながら、地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいきたいと考えます。



建て替えが求められる特別養護老人ホーム

②本町においても高齢化が進み、定員50名の特別養護老人ホームは、常に満床の状態であり、施設は築40年が過ぎ老朽化が著しく建て替えの時期でもあると思います。町長がお話している「安心して最

### 地域連携特例校とは…

第1学年1学級の高校のうち、地理的状况等から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校は、地域連携特例校に位置づけ、地域連携協力校等と連携した教育活動や遠隔授業の配信などにより、教育環境の充実を図っていきます。



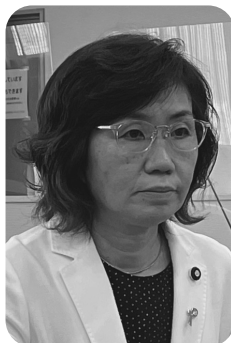
町の課題解決に向けて「とかち創生学」成果発表会



## 教育・子育て

### 未来を担う子どもたちの支援を

答 調査研究し、実情に合った支援策を実施します



藤田直美議員

**藤田議員** 5つの笑顔構想と43の取り組みが公約で示されました。定住移住や少子化対策、子育て、教育環境の充実が重要課題と考えます。

① 来年創立80周年を迎え、地域連携特例校に指定された本別高校への支援は。

② スポーツクラブの設立を目指す内容と、大会招致など充実した施設整備が必要では。

③ 本別町の未来を担う子ども達の誕生を祝い、他町も実施して

いる出産祝い金の創設を。

④ 奨学金を活用し大学等を卒業した若者が、本町への就職のきっかけとなるよう奨学金返還支援制度に取り組みすべきでは。

**佐々木町長** ① これまでの支援の継続と新たな支援策は今後検討し、80周年記念事業に対しても支援できればと思います。

② 児童生徒から高齢者までの基礎体力や健康増進、全道・全国選手の育成、スポーツを通し地域コミュニティの課題解決に向けて調査研究を進めます。

③ 町民の声を広く聞き検討します。

④ 定住移住促進について調査研究し、実情に合った支援を実施します。



## 産 業

### 時代に即した企業誘致条例の改正は

答 目的に照らし柔軟な対応をしていきます



柏崎秀行議員

**柏崎議員** 企業誘致は地方自治体において、人口減少問題、経済の発展に大きな影響を与えると考えます。町長の43の取り組みにも企業誘致活動を積極的に進めるとあります。

大手製糖工場が2年後に生産終了の報道がありショックを受けたのが記憶に新しいところです。新規企業、既存の企業も産業を振興してもらうため企業誘致条例を見直し、積極的な誘致活動を進めるべく以下2点を伺います。

① 本町の企業誘致における利点と弱点を伺います。

② 平成25年から条例の改正は行われていないことから、時代に即し改正していかないと



高速道路を活かして

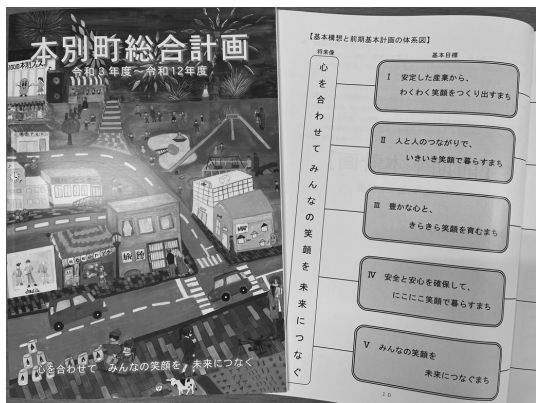
ればならないと思いますが見解を伺います。

**佐々木町長** ① 利点は道東自動車道のジャンクションを有し物流拠点となり得ることです。弱点は一定規模のまとまった用地を持ち合わせていなく、企業が求める多様なニーズやスピードに対応しきれない状況です。

② 企業誘致条例の初期の目的に照らし柔軟な対応をしていきます。

第7次本別町総合計画とは…

町の最上位計画として各分野の方向性や実施事業の指針となるものです。町民アンケートや策定審議会での審議などを基に策定がされた、令和3年から12年までの10年計画となっています。



第7次本別町総合計画書

「私の政策」  
「私が訴えた政策」だとすることと違和感はお持ちでないのか伺います。  
②行政の中立性を厳に確立させるために特定の政党や団体、支持

梅村議員 ①施政方針で述べた「五つの笑顔構想」は、第7次本別町総合計画に掲載されているものをまるつきりそのまま引用されており



梅村智秀議員

行政

町長の政治姿勢について  
答 中立・公平・平等が私の行政信念です

者等を優遇することはあつてはならず公平性が求められます。前町政下のことでも不適切な事案が露見した際は、積極的に情報開示をして根本的解決を図っていく必要があります。

今後の施政の方針はご自身で策定していくのか、どなたから指導をいただく予定などあるのか伺います。

佐々木町長 ①選挙中も総合計画を受け継いでいくと示しており、引用とかでは一切ありません。

②行政に携わる者は中立・公平・平等でなければならぬ、それが私の行政の信念です。様々な方々に耳を傾け、その対話の中からまとめ上げ、私自ら提案をし強いリーダーシップの下、町政を執行してまいります。

ふるさと納税事業の充実で繋がりが強化を  
答 メールマガジンの配信やリピーターとの関係を大切にします

阿保議員 ふるさと納税事業は2008年、28件、寄付額は1,462万円でスタートし、2020年には5,418件、8,979万円の寄付でした。町長は「安定財源」としてふるさと納税事業を位置付けました。

①「安定財源」とするにはこれまでに加えどのような取り組みを考えているのか伺います。

②返礼品送付だけでなく新たな交流や関係人口の創出、移住につながるような取り組みが必要だと考えますが見解を伺います。

佐々木町長 ①本事業は地元事業者支援や町のPR、財源確保と地域活性化などにつながる重要な取り組みと考えます。庁内ワーキンググループで議論を継続し、先進事例を参考にしながら検討していきたいと考えます。



本別高校生が考えたカレーも返礼品に

②メールマガジン（返礼品の紹介）の配信などに取り組んでおり、リピーターとの関係を大切に、本町との関係を深めることが必要と考えます。

## 刑事訴訟法とは…

刑事訴訟法第157条1項では、真実と異なる登記を行った場合は「5年以下の懲役、50万円以下の罰金」、また、同法第239条第2項で、公務員には犯罪があると判断したときは告発をする義務があるとされています。

もつと博士から



**梅村議員** ふるさと産業開発センター（共栄）を本店とする法人があり、今年1月に登記がされたが、売買、賃貸借、使用許可を行った事実はあるのか伺います。

法人の本店登記は取引先に信頼や安心感を与えるもので、自治体所有地に本店があると、自治体の仕事を請け負っているなどと取引先に信じ込ませることが可能です。

金融機関等に融資の申し込みや、登記簿を提示して取引がなされていた場合などは詐欺罪にも発展する可能性があります。

**訴訟法**に基づいた対応が必要です。

本件について、どのように町政の透明化を図るお考えですか。



ふるさと産業開発センター（共栄）

**梅村議員** 佐々木町長 法務局に照会をかけたところ登記の事実が把握できませんでした。売買、賃貸借、使用許可等は行っておりません。

まずは法人に是正を求め検討をします。本件は町民の皆さんに対して説明責任がありますので、顧問弁護士と相談して適切な処理をして経過報告、最終的な顛末についても説明をまいります。

## 公共施設住所地に法人が本店登記その実態は

**答** 弁護士と相談の上で適切な処理と町民にも説明します

## 公用車にドライブレコーダー設置を

**答** 本年度中に計画し、次年度から導入を考えます

**梅村議員** ①現在保有している公用車台数と近年の事故件数、損害額を伺います。

②公用車の不適切な運行例があります。皆さんの管理としては公用車内での喫煙が挙げられます。これらはドライブレコーダーの設置があれば抑制や事実の究明に寄与したはずですが。

③動く防犯カメラとして職員や町民の安心・安全につながり、設置を町内事業者に依頼すると事業者支援にもなります。

**佐々木町長** ①保有台数が93台、直近3年間で事故13件、損害額が約343万円です。

②これまで議会や議員協議会で報告がなされているところであり、職員の公用車での喫煙もそのような事実があるならば再度注意喚起、指導を徹底してまいります。

③全国的に地域住民の安全

を脅かすような事件や交通事故が発生している状況を鑑みて、本年度中に計画し、次年度から導入を始めていきます。設置は町内事業者に依頼するよう考えています。



ドライブレコーダーの設置で町民の安心・安全を



# 農業・産業

## 農業を中心とした商工業振興の考え方は

**答** 農業の発展から他産業への経済循環が重要です

**大住議員** 基幹産業の農業を中心とした商工業振興は、町長の公約にもありますが、行政だけでは産業の振興は望めません。

① J A 本別町・本別町商工会との協議はもちろん、農業担い手の方々、若手商工業者の方々との意見交換が重要となりますが、どの様に進めて行くか伺います。

② 8月下旬に突然、製糖工場の操業停止の話が出て来ました。国や北海道に対し、本別町一丸となり要望すべきと思いませんし、財政措置も止むを得ない事案と認識しています。総合計



産業の振興は経済の循環で

② 就任直後に北海道庁と北海道糖業本社を訪れ要請を行いました。ビートの作付全量を買収していただく要請をしました。財政措置については柔軟に対応します。

画の見直しを図り財源の捻出が必要だと思いますが考えは。

**佐々木町長** ① 基幹産業の発展から第2次・第3次産業へ経済を循環させることが重要です。J A 本別町・本別町商工会を含め、関係者の皆様とは様々な機会や状況に応じて、懇談や意見交換をさせていただきます。

## 農業を軸とする産業振興の取り組みは

**答** 喫緊の課題や今後の農業など話し合いを進めます

**阿保議員** 町長は農業を中心に商工業を振興するためとして、産業・人材育成等について言及されています。

① 農協や農業者、関係業者との意見交換が非常に重要です。意見交換を定期的に設け町としての支援のあり方、食のブランド化を推進するための取り組みを具体化、強化していくべきと考えますが見解を伺います。

② 営農指導対策協議会を中心に新作物導入の研究を行いながら、研究段階のリスク部分は町が担うことを基本に進めるべきと考えますが、見解を伺います。

**佐々木町長** ① J A 本別町と関係団体で喫緊の課題や今後の本別町の農業などについて話し合いを進

めていきます。食のブランド化についてはPR活動や販路確保などの支援で積極的に関わっていきます。

② 新規作物の導入は大きな成果にはつながっていないのが現実です。今後は、消費者ニーズや販路開拓に重点を置き進めていきたいと考えます。



がんばるビートハーvester



# 令和2年度 決算審査 特別委員会

10月25日・10月26日  
2日間開催

審議時間 7時間12分

124の質疑

一般会計総支出額 78億2,852万円  
9会計総支出額 125億8,710万円

決算審査特別委員会（議長及び議会選出監査委員を除く10人で構成）は、一般会計及び6つの特別会計、2つの企業会計の歳入歳出決算認定についての審査を行う委員会です。審査の結果、9会計の決算を全て認定しました。

※大住啓一委員長が欠席のため、篠原義彦副委員長が議事進行を行いました。

## 防災備蓄用消耗品

**問** 購入内容と使用期限切れによる処分方法は。

**答** コロナ対策として使い捨てマスクや間仕切りテント等を購入し、また、備蓄用品の更新としておむつや生理用品、アルファ米等も購入しています。

使用期限が迫ったおむつは老人ホームや社会福祉施設へ、生理用品は町内の中学・高校へ配布を行っており、食料品については社会福祉協議会を通じて生活困窮者の方へ活用いただいています。

## 健診受診率

**問** 受診率の推移と受診率向上の取り組みは。

**答** 令和元年度と比べ、後期高齢者の健診は24人増加しましたが、がん検診全体では112人減少しています。健康管理センターにより健診のお知らせ

を行っています。健康管理センターにより健診のお知らせ

せを行ったり、乳がん、子宮がん検診は個別に案内を送っています。

## 国民健康保険税

**問** 収入未済額が前年よりも減になったが、主な要因は。

**答** 督促状や訪問徴収、納税相談など徴収体制の強化を図り、滞納整理機構も利用しており、徴収率が上がっています。

## 東京たいとう・すみだ交流連携事業

地方創生推進交付金を活用した、十勝18町村と東京都台東区、墨田区が連携し両地域の関係人口の創出、拡大を目指す事業です。

**問** 取組内容、実績は。

**答** 東京の人に十勝を知ってもらおう取り組みとして、両区11の飲食店で本

別産のゴボウを含む十勝の食材を使ったメニューの提供や、食の関係者による料理教室を動画配信等で行いました。



本別を東京でPR

## ふるさと納税

**問** 主な活用内容は。

**答** 保育料、医療費（0歳～18歳）の助成、給食費（就学前）の軽減、英語教育に関わる講師派遣等の事業のほか、福祉有償運送の運営費や介護人材確保対策事業等へ活用されています。

コロナ商工支援事業

新型コロナウイルス感染症に伴う売り上げ減少の補助や、ゆうゆうカードの更新によるキャッシュレス化の推進、いきいき商品券のプレミアム率50%の消費喚起等を行いました。

問

事業の総括、評価は。

答

国の交付金を活用し、全9事業、1億1,019万5千円の事業を実施しました。町内事業者のうち、コロナの影響による廃業はありませんでした。

観光協会補助金

問

補助金減額の内訳は。

答

本別山溪つつじ祭り、きらめきタウンフェスティバル等のイベント中止による事業費の減と、ふるさと納税の取り扱いが増えて収益増となったため、補助金は減額しました。

地元産材活用支援事業

問

事業の内容は。

答

新型コロナウイルス感染症拡大の中、地元畜産物の販売促進と地場産品PRとして、市価の35%引きで600セット販売し、約2000人の来場がありました。



盛況だった畜産物の販売

答

358件(同一箇所を含む)寄せられ、年度末において未処理となったのが46件、うち令和3年度へ補修を回したのが13件で、残りは経過観察となっています。

問

病院運営についての議論は。

答

病院の新改革プランの見直しとして、5つの基本方針と8つの施策の取り組み状況について点検を行いました。

病院運営

問

一般会計からの繰入金に関して、実態と評価は。

答

繰入額は4億2千万円ですが、繰り入れ自体は法律上担保されている制度であり、24時間365日の救急医療体制を含む病院を維持していくために、

繰り入れは必要だと考えます。

本別高校の教育を考える会

問

活動内容と評価、課題は。

答

とかち創生学に講師を呼んだり、資格取得助成など複数の支援を行っています。英語検定では、3級6人、準2級12人、2級3人取得しています。これまでいろいろな取り組みを行っていますが、なかなか本別高校の入学者数に結びついていないのが課題だと捉えています。

人型ロボット

新学習指導要領の実施により、ロボットを活用したプログラミング教育やロボットとコミュニケーションをとるなど、プログラミングへの学習意欲や興味を高めるため、人型ロボットを1台導入しています。



プレミアム率50%の商品券

地籍調査

問

進捗状況は。

答

令和2年度に基本計画の策定を予定していましたが、当初想定していた準備期間より時間を要しているため、策定が遅れています。

町道の簡易補修

問

要望や苦情の件数は。

**問** 利用実態と子どもたちの反応は。

**答** 各学校へ1月ずつローテーションしながら配置し、直接触れ合いながら楽しく学び、子どもたちにはとても喜んで利用していただいています。



子どもたちに人気のロボット

### 会計年度任用職員

**問** 制度を導入し1年経過するが、評価は。

**答** 労働条件等については、期末手当の支給、夏季休暇や生理休暇を有給での付与となり、運用に当たっては滞りなく進められたと捉えています。

### 町補助金

**問** 令和2年度の補助金の見直し状況は。また、コロナ禍による影響は。

**答** 120項目6億5,830万7千円のうち、23の補助金について審査をし、3事業の廃止で898万4千円減額となりました。また、コロナ禍の中で、事業の延期や中止などの影響もありました。

### 財政調整基金

**問** 運用に当たってどのような検討されているのか。

**答** 年度途中で、その年の普通交付税や決算での前年度繰越金額の確定と、今後の補正見込み等を考え、財政調整のために繰り入れ額や積み戻し額の推計等を行い運用しています。

### 病院事業会計決算に対する討論

**反対討論：**梅村委員

地域包括ケア病床を導入しても、一般会計からの繰入金等に頼る体質は変わらず、厳しい町財政の中、財源確保に限界が来る可能性がある。運営主体を変え、持続可能な医療体制を構築することが急務。

**賛成討論：**阿保委員、藤田委員

町民の命と安全・安心を守るため、公立病院として果たす役割は非常に大きく、健全な運営に努められている。地域包括ケア病床の運用が始まり、今後もニーズが高まると考える。

賛成者7人、反対者1人で可決されました。

### 後期高齢者医療特別会計決算に対する討論

**反対討論：**阿保委員

保険料の収入未済額が毎年増加し、被保険者の生活が年々厳しくなっている。広域連合や国に対して、保険料減額と、それを補う施策を要望していくべき。

**賛成討論：**梅村委員

制度に対する疑義については、別の場でやるべきである。本決算提案において、取扱事務の不備等は見当たらず、適切な運営と認めることが適当である。

賛成者7人、反対者1人で可決されました。

### 一般会計決算に対する討論

**反対討論：**梅村委員

継続事業に終始し、効果的な新規事業の導入や未来に向けた具体的な成果などが見受けられず、コロナ禍という点を割り引いても後年度、町の将来に負担を残す行政運営であった。

**賛成討論：**阿保委員、藤田委員

厳しい財政状況の中、今まで経験したことのない特殊な環境のもと、コロナ対応について国からの交付金などの活用や町独自の支援も行われており、迅速かつ的確な対応をしたと判断する。

賛成者7人、反対者1人で可決されました。

### 議会用語の解説

#### 《紀律》

議会の秩序の維持と円滑な運営の確保のため、紀律を遵守することが定められており、議長には、議場の秩序保持権があります。内容としては、議場の秩序維持、傍聴人の取締、品位の保持があります。

#### ○議場の秩序保持

自治法又は会議規則に違反し、その他議場の秩序を乱す議員があるときは、議長は、これを制止し、又は発言を禁止し、又は議場の外に退去させることができます。

#### ○傍聴人の取締

傍聴人が公然と可否を表明し、又は会議を妨害するときは、議長は、これを制止し、命令に従わないときは、退場させることができます。

#### ○品位の保持

議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならないとされています。

意見書

第3回定例会では意見書が3件提出され、そのうち2本が原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

北海道の経済は新型コロナウイルス感染症の長期化により食産業や観光業、農林水産業など大きな打撃を受けています。

また、近年の台風、豪雨、地震など激甚化、頻発する傾向にあります。

よって国は、社会資本整備、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を確保し、地域の実態に鑑み、重点配分することなどを求めます。

提出者

阿保 静夫



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

コロナ禍の中、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況にあります。

高齢化による社会保障関係費が増大しているが、それを他の地方歳出にシワ寄せをしないこと、市町村の基幹税である固定資産税の特例措置の延長はしないことなど、地方

写真で見る議員活動

上富良野町議会視察来町

11/9



上富良野町議会の議会運営委員会が視察で来町され、本町の議会活性化の取り組みについて説明させていただき、情報交換を行いました。

財源の充実を国に求めます。

提出者 阿保 静夫

討論

反対者・梅村議員

コロナ禍において、中小事業者や国民、末端の消費者等に恩恵のある制度の延長や終了を求めることは適当ではない。

採決の結果  
賛成10人  
反対1人



委員会レポート

総務 常任委員会

主権者教育及びコミュニティ・スクールの取り組みと学校環境整備について  
調査日/令和3年7月30日

1. 主権者教育について

主権者教育とは、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え判断し、行動していく主権者を育成することです。

具体的な取り組みは、小学校低学年は教育委員会が主体となった通学合宿、中学生は、選挙制度や政治の仕組みを学んだり、十勝池田税務署より租税教育も取り組んでいます。

2. コミュニティ・スクールの導入

平成28年度から勇足地区を皮切りに、平成30年度に本格導入されました。

3. 学校環境整備

町内各小中学校では、新



サーマルカメラが設置された小中学校

型コロナウイルス感染症防止対策として、地方創生臨時交付金約4,300万円を活用して環境整備を実施しています。

整備内容は、手洗い場の自動水栓化への取り替え39台で150万円、保健室エアコン設置5台で570万円、トイレ洋式化20カ所2,000万円の他、サーマルカメラ(熱検知カメラ)機器一式の導入などです。

まとめ

主権者教育、コミュニティ・スクールの取り組みは地域との連携を図り、更なる充実と期待をしています。

# 産業厚生 常任委員会

## 本別公園一帯の観光入込 数について

調査日／令和3年8月4日

本別公園の観光客数は、令和元年度までは年間14万人程度で推移しており、内訳は公園（遊具等）で約46%、ゴーカート約15%、イベント開催で約5%などとなっております。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事



入り込みが期待される本別公園

態宣言等により、イベントの中止および、公園施設のオープン時期の変更や利用制限を行ったため、令和2年度の観光客数は98,455人と対前年度30・9%減少しました。令和2年4月17日から5月31日までの緊急事態宣言がゴールデンウィーク期間と重なり、入り込みが見込めなかったことが減少の大きな要因と考えられます。

### まとめ

本別公園は町内外から訪れる観光地であり、新型コロナウイルス感染症の影響で例年から比べると観光客数が減っていますが、今後、ボートやゴーカートの台数増のほか、無料のキャンプ場などをどのように整備するのか課題であると考えます。

### 農業被害の現状について

調査日／令和3年8月4日

自然災害による被害については、平成28年8月に発生した台風による大きな被害

害があり、農作物が倒伏や冠水、土砂流入等によって農地が町全体の約10,500haのうち1,823ha（約17%）が被害を受けました。

鳥獣等による農作物等の被害については、防護ネットや電気柵等の設置を進めています。防護対策の整備が完了していない地区におけるエゾシカ発生率が増加していることもあり、被害面積・被害額も年々増加しています。

### まとめ

エゾシカによる農作物の被害が年々増加し、大きな問題となっております。これまで国の事業を活用した防護柵、電気柵の設置を行い、猟友会による駆除の協力で令和2年度のエゾシカの駆除は472頭となっております。

今後は柵等の設置、猟友会による駆除、更には鹿の群がる河川の木などの処理を道、国に要請することも必要と考えます。

# 行政報告

第4回臨時会（9月17日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

## 新型コロナウイルスのワクチン接種状況について

9月16日現在のワクチン接種状況について、8月末現在における12歳以上の全

対象者6,162人に対し、1回目の接種を終えた町民は5,117人、率にして83・04%、2回目の接種を終えた町民は5,025人、率にして81・55%となっております。

今後接種を希望される方に対しましては、10月4日から国保病院において、引き続き対応させていただきます。

# 議会日誌

- 〔 8 月 〕
  - 4日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 〔 9 月 〕
  - 3日 議員協議会
  - 15日 議員会役員会
  - 17日 第4回臨時会、議員会総会、広報広聴常任委員会
- 〔 10 月 〕
  - 1日 議会運営委員会
  - 5日 定例会開会、議員協議会、総務常任委員会
  - 7日 議会運営委員会
  - 12日 本会議（一般質問）
  - 13日 本会議（議案審議・決算提案）
  - 14日 本会議（決算提案）、広報広聴常任委員会
  - 25日 各会計決算審査特別委員会
  - 26日 各会計決算審査特別委員会
- 〔 11 月 〕
  - 2日 広報広聴常任委員会
  - 9日 上富良野町議会視察来町
  - 11日 広報広聴常任委員会
  - 12日 議会運営委員会、議員協議会、本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会
  - 17日 広報広聴常任委員会
  - 18日 本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会
  - 25日 一部事務組合議会（帯広市）
  - 30日 第5回臨時会



# 行政報告

# ユーピーぶれいく



## 一人でも多く 本別に



本別高校の教育を考える会  
会長 山根博和さん

今回のコーヒーぶれいくは、本別高校の教育を考える会の会長である、山根博和さんにお話を伺いました。

### プロフィール

現在42才の山根さんは、有限会社ヤマネエコサイクルの取締役で、本別高校に通う2人の娘さんが小学生のときにPTA会長を務められ、現在は「本別高校の教育を考える会」の会長として長年、教育に携わられて

きました。

### 熱量を感じる議会

議会には傍聴や議会だよりで見聞きされており、若い議員の活発な話に熱量を感じる印象を持たれていました。

### 一人でも多くの卒業生が本別に残ってほしい

本別高校の教育を考える会では、町から大きな予算をいただいで活動している

中で、様々な団体等と協議し協力して進めていく中、「地元の高校を希望する生徒がいる以上は本別高校を残すのが大前提ではあるが、間口減という現状を踏まえ、より高いレベルの授業が受けられる『地域連携特別校』の導入や、答えのない課題に取り組む『とかち創生学』などの魅力をPRし、本別高校を選択してもらいたい」と語られました。

また、少子高齢化が課題だと考え、「一人でも多くの卒業生が本別に残ってもらうことが重要」と熱い思いを伝えていただきました。

### 若い世代の意見を

これからのまちづくりには「組織の若返り、若い世代の視点からの意見が一つでも増える必要がある」「町内の子どもたちのために、自分がこの町に住んでいる以上、役職に関係なく協力はしていきたい」と話されました。

### 趣味はサッカー

趣味について何つと、子ども頃からずっとサッカー選手として活躍され、最近ではもっぱら海外サッカーの観戦が楽しみとのこと。コロナ禍になる前に取り組んでいた、商工会と役員職員とのサッカー交流試合を復活

させたいとのことでした。

今回のインタビューを通じて、本別高校の教育を考える会の会長を4年間務められている、熱い想いを持つ方だと改めて実感することができました。

## 本高生が議会見学・傍聴に

10月12日、本別高校1年生のうち28人が探究学習の授業の一貫として、議会の一般質問の傍聴体験を行いました。開会前には議場や議員控室の見学なども行っています。

